

校長先生の部屋だより

哲学ルームだより



この「哲学ルーム」は、生徒、先生の区別なく、共に学校スローガンである「人間を学ぶ」空間です。

今回は3年生の男子が2人やってきました。

A：先生。ピカソのゲルニカはなぜ芸術なんですか。ぜんぜん美しくないんですけど。

—芸術って何だと思う？

A：言いたいことと絵に表されたことが混ざり合っているものだと思います。

—じゃあ、横断歩道の信号機に書いてある絵は芸術だろうか。「止まれ」って言いたくて赤で人が止まっている絵が描かれてある。

B：僕は思いつきを形にして他人に分かるようにしたものが芸術だと思います。そこに主観的な感想が入ってあるものもあります。

—だからさ。信号機も「止まれ」という思いを形にしているんじゃないの？これ芸術？

B：伝えたいものがあっても社会の中で作らなければならないものは芸術にはなりません。

A：具現化する思いが芸術だと思います。これだけは伝えたいという思いが芸術にするんだと思います。

—思いの強さってこと？じゃあ、ある人が好きで好きでその人にラブレターを書いて「あなたが好き！」ってでっかく書いたら芸術かな？

A：言葉はダメです。言葉は芸術になりません。

—えっ？文学は？詩は芸術じゃないの？

A：言葉はすでに作られています。作られていないものから形にするのが芸術です。

B：そうじゃないと深みが出てこないと思います。

—作られていない、とか深みといった面白い言葉が飛び出してきたね。ですが残念。時間です。また来て下さい。

